

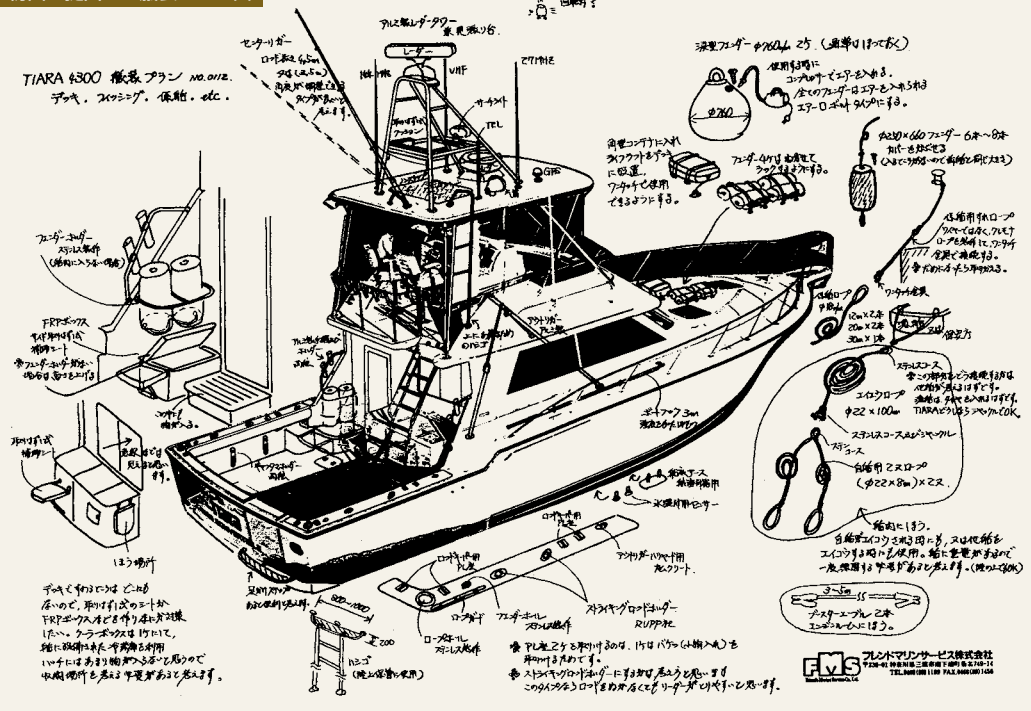
ボートの楽しみ方とボートに対するこだわりを明確に持ったオーナーが、その基準でボートを選び、日本での実情と用途に合った艀装を施せば、輸入艇ならではの魅力を最大限に享受することにもなります。日本の事情に合わない部分は徹底的に改造する。その結果誕生したのは、国産艇にも輸入艇にもない魅力を持ったオリジナル艇でした。

艀装プラン

まずはオーナーと入念に艀装プランを練ることから始め、ボートの入荷を待ちました。そして到着した輸入艇を徹底的にチェックし、このボートの持つ基本的な構造や性格を知ること1週間を費やしました。利便さを追及するあまり、輸入艇ならではの良い部分を否定してしまうことのないように艀装プランを修正し、その上で最終的なプランを決定しています。

これだけの大型艇になると、実際の作業を行う各分野の専門業者が個別に艀装を行ったのでは、ベストフィッティングボートを完成させることは不可能なレベルでありまし

初回に提出した艀装プラン図



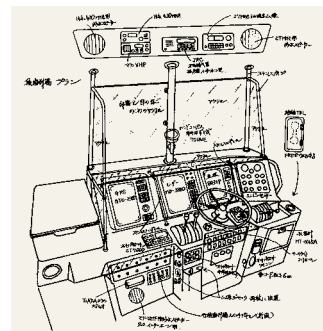
た。オーナーの指向を十分汲み上げながら練り上げた艀装プランを実際に艀装を施すそれぞれの技術スタッフにうまく伝え、納得のいく仕上がりになるようにトータルコーディネートすることは、大変重要な役割です。

フィッシング
艀装

電装艀装

係船艀装

室内艀装



フィッシング艀装

ビッグゲームフィッシング中心の艀装ですが、カジキを狙うだけでなく、毎週のように海に出かけているいろいろな魚との出会いをしたいという要望で、曳釣りやボトムフィッシングなども楽しめる方向性で艀装を進めていきました。

フィッシング装備でメーカー標準装備はただひとつ、フライブリッジ後方のロケットランチャー。他の装備もメーカーオプションで選ぶこともできたのですが、オーナーの使用目的に合ったアレンジを加えていきたいため全て国内で装備しています。艀装の内容を紹介すると……

アウトリガー、センターリガーはSCHAEFER社アルミ製ホルダーに曳釣り、ビッグゲームフィッシングを併用するためFRP製のポールを採用。ロッドホルダーはブルワークトップの4ヶ所に加え、ロッドラック用としてブリッジサイドに手摺りを兼用したアルミ製のロッドホルダーを装備。

ファイティングチェアはLEE'Sタックル社を選び、トランサム内舷より船首方向へ1,400mmの位置にベースを固定しています。オーナーのビッグゲームフィッシングのスタイルは、このファイティングチェアからアウトリガーラインを流すため、ロッドホルダー位置は通常より少し船首方向で装備しています。

その他サイド内舷を利用して、フライギャフ、レギュラーギャフ、タマ等のラックを用意し、リールからのハーネスラインを紡う小型クリートを設置。またボトムフィッシング時に使用するPL座セットを両舷4ヶ所ずつ設置し、ロッドキーパー、ボックスキーパーを用意しています。

フィッシング艀装品

SCHAEFERアウトリガーホルダー LX28-C	1PR	LEE'Sロッドホルダー RH530SS	4個
FMSアルミ+FRPロッドNO.2-S	1PR	ロッドラック アルミ製ホルダー 2連	両舷
ハリヤードラインセットD-1	1PR	LEE'Sファイティングチェア CH-164	1台
タグラインキットC-1	1PR	ギャフ、タマホルダーシステム3連	両舷
SCHAEFERセンターリガーホルダー	1PS	マイボート・ロッドキーパーII	4個
FRPセミロッドタイプA-1	1PS	マイボート・ボックスキーパー	4個
ハリヤードラインセットA-1	1PS	電動リール用デッキコネクター 3極	2個

電装機装

このボートで最も重点的に機装されているのが航海計器関係。オーナーはボートのキャリアがあり、外洋でのトロリングを目的としているため、航海計器に関しては特にこだわりを持たれた部分です。FBコンソールには納まる範囲内ということで12インチの各機種が、中央にレーダー、左にGPSプロッタ、右に魚探という配置で装備しています。配置の理由としては、オーナーは伊豆七島周辺の海域を熟知しており、GPSプロッタの視認頻度よりも天候不順の場合に障害物をレーダーで確認しつつ航行する際の頻度を優先したため、レーダーを中央、ナビゲーションシート側にGPSプロッタとしています。その他の計器類としては、オートパイロット、水温計、無線設

備などを搭載しています。

ロアステーションに関しては、あくまでサブとしての機能であるため、中央部にレーダー、GPS魚探プロッタ各10インチサイズを設置、他のシステムはFBステーションとのデュアルシステムを採用しています。

これだけの計器を搭載すれば、当然膨大な電力を消費することになります。そこで標準の配線回路とはまったく別に、追加バッテリーによる新設回路を装備することで対策しています。そしてこの新設回路は、FBステーションの国内で装備した機器関係を使用して、ロアステーションの航海計器を含め他の機器に関しては標準の回路を使用するようにしています。このことにより万が一どちらかの回路にトラブルが発生しても、片方で使用できるようになっています。



集約的なアンテナシステムとしてアルミ製のレーダーアーチを製作しました。レーダーは高性能の計器を付けても高さが低いと十分な情報を入りできないため、ルーフトップにロアステーション用32マイルドームアンテナ、製作したレーダーアーチには96マイルオープンアンテナを設置。その他無線関係のアンテナ等と、GPS、TEL、サーチライトなどが互いに干渉しない場所を見つけて装備しています。

ロアステーション



FBステーション



係船機装

船体重量（排水量）20トンという大型艇であるため、十分な機装と工夫を必要とした機装となりました。

①トランサムに標準装備されているムアリングホールがありますが、日本の桟橋や岸壁では、このホール1個では不足のため、ブルワークトップのコーナー部にステンレスで製作したムアリングホールを追加しています。さらにその前にフェンダー用ホールを装備し、舷が擦れるのを防ぐためステンレスロープガードで保護しています。

②ブリッジサイドコーナー部左舷には、フェンダーホルダーをドアが開く裏側を利用して装備し、ドアの当り止めとロックを兼ねた金具を装着しています。右舷コーナー部は少ないスペースのため手摺金具を付け、ロープストラップで係船索やホースのラックとして利用しています。
③寄港先の岸壁などで使用する大型フェンダーに関しては、収納スペースが無く、どうしても大型のものが搭載できないため、エンジンルームに小型コンプレッサーを装備し、φ760mm径の涙型フェンダーを通常は空気を抜いて収納し、使う時だけ膨らます方法で用意しています。

係船機装品

ムアリングホール（ステンレス製作品）… 両舷
フェンダー用ホール（ステンレス製作品） 両舷
ロープガード3/4×18インチ …… 両舷
スタン用フェンダーホルダー 2連 …… 1台
パウ用フェンダーホルダー 2連 …… 両舷
電動ウインドラス モデル1000 …… 1台
100V小型電動コンプレッサー …… 1台
ロープストラップ用手摺金具 …… 1個
アンカーロッカー改造 …… 一式

係船設備

デルタアンカー 16kg …… 1本
ウインドラス用チェーン60m …… 1本
アンカーロープφ18mm×100m …… 1巻
二爪錨10kg …… 1個
鉄亜アンカーチェーンφ8mm×3m …… 1本
鉄亜アンカージャックルφ8mm …… 2個
アンカーロープφ14mm×200m …… 1巻
係船索（片側アイ加工）
φ20mm×30m、16m、9m …… 各2本

スリ止め用ロープセット …… 2セット
曳船用ロープセット …… 1セット
ロープ貫通型フェンダー
φ250×660mm …… 6本
フェンダーカバー …… 6個
涙型フェンダー φ760mm …… 2本
ボートフック2m、3m …… 各1本
ロープストラップ …… 3箱

室内機装項目

- メインサロン内天井ロッド収納庫改造
- 階段部収納用ロッドホルダー新設
- ロアステーション用運転席の新設
- テレビ、オーディオ関係の新設
- トイレ排出口の増設
- 予備清水ポンプ増設
- 降圧トランスの新設

その他の機装項目

- アフターデッキハッチ内ビルジポンプ増設、収納用床下スノコ新設
- FBステーション用エンジンルーム温度計、エンジン排気温度計の新設
- エンジンルーム内物入れ用木製ボックス新設
- カバーオーニング、船名シール、etc.

FMSマリンカタログ内のフィッシング用品や機装品を使用して、ベストフィッティングボートを提案しました